

金沢大学・ナノ生命科学研究所技術職員（任期付常勤）（計測機器管理）

[機関名] 金沢大学

[機関または部署 URL] <https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/>

[部署名] ナノ生命科学研究所

[機関種別] 国立大学

[求人内容]

金沢大学ナノ生命科学研究所(NanoLSI)は文科省世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)による世界的な研究拠点として、2017年10月に設立されました。本拠点では、世界最先端のバイオSPM(走査型プローブ顕微鏡)技術と超分子化学技術を融合・発展させ、細胞の表層や内部におけるタンパク質、代謝物質、核酸などの動態をナノレベルで直接観察、分析、操作するためのナノプローブ技術を開発します。そして、これらの革新的ナノプローブ技術を基盤として、「がん」研究や計算科学の知見を統合的に活用することで、細胞の基本機能の仕組みをナノレベルで根本的に理解することを目指します。さらに、これらの活動を通じて、ナノプローブ技術を基盤として「がん」をはじめとする様々な生命現象の根本的理解を目指す新学術領域、「ナノプローブ生命科学」分野の創出を目指します。

このたび、ナノ生命科学研究所では、「技術職員」として走査型電子顕微鏡(SEM)、透過型電子顕微鏡(TEM)、集束イオンビーム加工装置(FIB)などの電子顕微鏡装置の維持管理、利用法の指導、および、それらを使った生命科学系の計測実験の実施などの用務に、長期にわたって従事することのできる技術者を募集します。具体的には以下のような業務を担当していただきます。

- ① 各種電子顕微鏡装置の動作原理・装置構成・操作方法を理解して、それらの装置が十分な性能を発揮し続けられるように、装置の維持管理、および、トラブルシューティングを行う。
- ② 各種電子顕微鏡装置の基本的な使い方や応用技術を、研究所のメンバーや所外から訪れる研究者に指導する。外国人研究者には英語で指導する。
- ③ 原子間力顕微鏡(AFM)や走査型イオン電導顕微鏡(SICM)などのSPM技術の基礎を学び、各種電子顕微鏡技術との連携研究を適切にサポートできるよう知識の更新に努める。
- ④ 電子顕微鏡では、生体試料の観察に加え、SPM計測に必要なナノプローブの加工・観察方法などを理解し、利用者に指導する。

[勤務地住所等] 金沢大ナノ生命科学研究所
石川県金沢市角間町(角間キャンパス)

[募集人員] 1名

[着任時期] 2024年5月1日以降のできるだけ早い日

- [分野]
- 1 大分類 工学
 - 小分類 計測工学
 - 2 大分類 生物学
 - 小分類 全て
 - 3 大分類 総合理工
 - 小分類 全て

[勤務形態] 常勤（任期あり）

※更新の可能性有り。任期中の勤務実績により任期の定めのない職員として採用の場合あり。

[応募資格]

(1) 利用者の中には、海外の研究者も含まれるため、英語で各種顕微鏡装置の使い方の指導や、それを用いた共同研究が問題なく実施できるレベルの英語能力を持つこと。

(2) 国内外の様々な研究者と協力しての共同実験の実施や、様々な研究者への装置利用法の指導などを行うため、それらを円滑に実施できるだけの高いコミュニケーション能力が必要とされる。

(3) 上述の通り、走査型プローブ顕微鏡（SPM）装置を用いた生体試料計測に関わるため、タンパク質や細胞を扱った研究の経験や、SPM を取り扱った経験などは高く評価する。

(4) 各種電子顕微鏡装置の維持管理・管理に関わるため、電子顕微鏡を自身で操作して計測を行った実務経験を有することは必須である。

(5) 修士の学位を有すること。博士の学位を有することが望ましい。博士の学位は必ずしも必須ではないが、博士研究者レベルの研究経験を持つことを想定している。

[待遇]

<職名> 主任技術職員（常勤）又は 技術専門職員（常勤）

<雇用期間>

2024年5月1日以降のできるだけ早い日～2027年3月31日（WPI終了時）まで

*雇用開始日については応相談。前述の通り、本公募では長期に従事できる方を求めており、優秀と認められた場合には、WPI終了後の2027年4月以降、任期の定めのない職員としての雇用へ変更できる可能性あり。

<勤務形態>

国立大学法人金沢大学職員就業規則の労働時間、休日及び休暇等に関する規程による。

<給与>

本給(年俸制) + 特別拠点手当：年500万円～700万円程度

*世界トップレベル研究拠点に相応しい処遇として支給される特別拠点手当 年72万円～

108万円程度を含む。特別拠点手当の額は採用後の業績・評価により変動し、WPI補助金が措置される2027年3月末までの支給とする。

*本給に係る給与決定に当たっては、経験年数により、国立大学法人金沢大学年俸制適用職員の給与等に関する規程に定める額とする。

*諸手当は、通勤手当及び時間外・休日労働手当が規程に基づき支給あり。

*任期の定めのない職員として雇用された場合、WPI終了後(2027年4月以降)の給与については、それまでの経験年数により、国立大学法人金沢大学給与規程に基づき改めて給与決定を行う。

<社会保険等>

国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入

上記以外の勤務条件については、国立大学法人金沢大学職員就業規則等によります(以下のURLをご覧ください)。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

[募集期間]

2024年4月7日必着(ただし、応募があり次第随時選考を実施し、適任者が見つかれば次第公募を締め切ります。)

[応募・選考・結果通知・連絡先・応募方法(書類送付先も含む)]

<応募書類>

- ① 履歴書(写真添付、現住所、連絡先[電話番号、メールアドレス]、学歴、研究歴、職歴、賞罰等)
- ② これまでの研究・業務実績、およびその他のアピールできる点(特に、各種顕微鏡を用いた研究の実績・能力に関する点を中心に。分量は不問。例えば、具体的な研究・業務実績の内容や、学会・論文発表実績、特許出願実績など。ただし、学術的な実績は必須ではないので、具体的な実務経験を重視します。)
- ③ 採用された場合の技術活動に関する抱負(A4サイズで2ページ程度)
- ④ 応募者の実績および能力について照会できる方(最大2名)の氏名・所属・連絡先

<応募書類送付先>

応募書類は、E-mailにて送付してください。

送付先：ナノ生命科学研究所事務室 採用担当

Email：nanolsi-jobs@adm.kanazawa-u.ac.jp

- E-mailの場合、5MBを超えるファイルは受け取れないため、別途アップローダーを利用してください。
- タイトルに「技術職員公募書類(計測機器管理)」と入力願います。

[選考内容(選考方法、採否の決定)、結果通知方法]

書類選考及び面接(書類選考後、随時面接の必要な方に連絡いたします。)

面接に伴う交通費等選考にかかる費用は自己負担となります。

[連絡先(担当者所属, 役職, 氏名, e-mail, 電話番号)]

業務内容については, 下記宛にお問い合わせください。

金沢大学ナノ生命科学研究所 教授 福間 剛士

Tel:076-234-4847 Email: fukuma@staff.kanazawa-u.ac.jp

就業規則や事務手続きについては, 下記宛までお問い合わせください。

金沢大学ナノ生命科学研究所事務室 採用担当

Tel: 076-234-4550 Email: nanolsi-jobs@adm.kanazawa-u.ac.jp

[備 考]

(1)就業規則に関する規程については, 下記 URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(2)応募書類の記載や応募資格の申告に虚偽の内容があった場合は, 合格又は内定を取り消すことがあります。

(3)応募者から取得する個人情報は, 金沢大学の職員採用活動に使用し, 金沢大学以外の第三者には提供又は公表いたしません。

(4) 金沢大学では, ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記 URL をご覧ください。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>